

1-5

上北沢ホームにおける口腔ケアの取り組み

～歯科衛生士・看護師・介護職員等の連携協働による実践～

連携協働

創意工夫

せたがやくりつとくべつようごろうじんほーむ かみきたざわほーむ
世田谷区立特別養護老人ホーム 上北沢ホーム

介護技術員・瀬田みゆき

共同研究者 看護師 藤原 ふさ子

世田谷区上北沢1-28-17

共同研究者 歯科衛生士 糟川 眞喜子

TEL 03-3306-5155

E-mail a_morikawa@setagayaj.or.jp

FAX 03-3306-1222

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

世田谷区社会福祉事業団が運営する区立介護老人福祉施設で、利用定員100名にショートステイが1日定員20名です。日々のケアに携わる職員として、介護職、看護師、歯科衛生士、機能訓練指導員、生活相談員の他、内科、精神科、皮膚科、整形外科及び歯科医の協力を得ています。

＜取り組んだ課題＞

- 口腔清掃による健康の維持
 - ・疾患の予防と気道感染の予防
- 口腔機能の改善
 - ・摂食嚥下障害の改善

＜具体的な取り組み＞

1) 対象者

ホーム入所者全員（100名）
（内訳）口腔清掃自立度⇒自立者21名、一部介助者29名、全介助者50名
栄養摂取状況⇒経口摂取94名、胃ろう造設者3名、鼻腔栄養者3名

2) 特色

- ホーム入所者全員に実施
- 歯科衛生士、看護師、介護職員の協働により実施
- 食前にも実施

3) 主な内容

- ①口腔清掃動作の自立支援
- ②食前及び3時のおやつ前に口腔清掃と口腔体操
⇒唾液腺のマッサージ・「パタカウの歌」を歌う・替え歌で踊り
- ③毎食後の口腔清掃
- ④嚥下機能低下者への口腔ケア
- ⑤経管栄養者への口腔ケア
- ⑥吸引ブラシ使用による口腔ケアの実施（対象者21名・鼻腔栄養及び胃ろう造設者含む）
- ⑦専門的口腔ケアの実施（鼻腔栄養者7名）
 - ・機能改善（マッサージ）

- ・気道感染予防（吸引ブラシ使用）
- ・口腔乾燥予防
- ⑧職場内研修の実施（歯科医師会との連携）
- ⑨評価・検討（施設サービス計画への反映）

＜活動の成果と評価＞

- 食前の口腔ケアにより、次の効果が、認められた
 - ・覚醒が良くなった
 - ・唾液の分泌が良くなった
 - ・食事介助時の開口が良くなった
 - ・食欲が増した
 - ・舌機能が改善した
 - ・口臭が少なくなった
- 口腔内の清潔が保たれ、誤嚥性肺炎が減少した
→17年度は、誤嚥性肺炎を原因とする入院者ゼロ
- 窒息事故件数が減少した
- 経管栄養者が経口摂取できるように機能改善している例がある
→医師の指示の下。ヨーグルト、ゼリーを一匙から

＜今後の課題＞

- ① 歯科医師との連携
- ② 口腔ケアの質の向上
 - ・チームケアの推進
 - ・ご本人の安全安楽面への配慮
→ご本人の状況に合った用具や方法を工夫
 - ・知識とスキルの向上
→職員研修の継続実施